

大槌町を「年収570万円の家庭」に例えると…

<収入>

給料	町に住む人や、町にある会社から納められる税金(町税)です	570万円
家賃収入	町所有の施設を貸すことなどで、使用料・手数料などが入ります	120万円
国からの援助	震災復旧・復興のために、国から援助しています	4億円
借金	国や銀行から借金をします	400万円
へそくり	国からのお金を積み立てている	2億円

<支出>

生活費	人件費の増加などで生活費が増えています	2,100万円
新しい家を建てる	高台にお金がかかります	3億円
道路の修理	ほぼ国から援助してもらいます	2億6,000万円
支援が必要な方への借金の返済	災害用慰金、児童手当、高齢者などに援助します	3,000万円
	昔作った借金を返します	700万円

町は、総額645億円となる平成25年度一般会計予算案を議会に提出しました。予算の総額は震災前の約12倍となっており、一方で町税は6億円弱と、震災前の半分になる見込みです。

今回示された予算の約93%(600億円)が復興関連予算で、その他(約45億円)は震災前と同様、主に町税で行われます。

それ以外の事業(福祉や教育など)は震災前と同様、主に町税で

町税、震災前の半分に

予算の93%が復興関連

大槌新聞

第35号

平成25年
3月11日(月曜日)
<発行者>
おらが大槌夢広場
復興館
電話 0193(55)5120

まかなわれるものです。しかし、今の大槌町は、年収570万円の家庭が6億円もの支援を受けている状態、生活費が2,100万円もかかり、さらに700万円の借金を返すなど、全く生計が成り

国保医療費、免除継続へ 大ケ口大橋、3年後完成

町議会定例会が3月1日からはじまり、14日まで行われます。定例会初日には町長が施政方針を発表しました。

【国保医療費】被災した方の国保医療費の一部負担金が、今年の12月末まで免除が継続されます。

【新しい橋の建設】沢山と源水を結ぶ新



<なつかしい大槌>
末広商店街



大槌わんこ

日笠コロくん(14歳)
高清水在住

以前は新港町に住んでいました。5人兄弟の中でボクが一番長生きなんだよ。でもオヤツを食べすぎて震災たりしちゃったので、病院の先生からはダイエットするように言われてます。健康には気をつけなくちゃね!

立ちません。みんな働いて町に税金を納めないと、ま

しい橋(仮称が大ケ口大橋)が、平成27年度末に完成予定です。

【仮設グラウンド設置】寺野公園にある運動施設が廃止され、町方の防災集団移転跡地に新しく整備されますが、それまでの間、仮設グラウンドを町方地区のどこかに作るそうです。

【復興まちづくり会社】

行政と共にまちづくりをする会社です。行政と民間団体の連携を後押しします。

【漁業学校】町内の漁業者や新規参入者が研修を受けられる漁業学校が作られます。平成25年度は開設の準備をします。

【生きた証プロジェクト】震災で犠牲になった方々の「人となり」を集め、後世に残そうという「生きた証プロジェクト」が行われます。

居酒屋 みかドン
ランチ:11時~14時
夜:17時半~23時
地元産の魚介類料理
090-2362-9873

三陸復興を応援します
成和建設株式会社
代表取締役 小田島好身
(昭和44年度 大槌中学校卒)
三陸営業所42-8822

被災地の復興を応援します
京都の食品問屋
京都中央物産株式会社
TEL(075)311-5395

一人一人の命を大切に
復興に向けて頑張ろう!
大槌地区災害廃棄物破砕・選別
等業務委託共同企業体
(株)竹中土木 (株)タケエイ
松村建設(株) (有)八幡組

<急募>
復興作業員 募集中
有限会社 小松組
代表取締役 三浦正三
☎42-7268

RKH
「猪の会/Team猪」の有志は
大槌町と全ての被災地の復興を応援します

あなたの街のあなたのお店
スプリングセール開催中!
自転車、お買い上げの方に後カゴ又は空気入れサービス
境田自転車商会
きらり商店街 42-2396
3/14はホイットデー
手作りクッキー
焼き菓子 マフィン
エルマーノ
北小福幸きらり商店街
0193-42-3525



安渡地区で3月3日、震災二周年の追悼行事が行われました。
午後2時46分になると、住民は旧安渡小学校校庭の入口に並び、半鐘が打ち鳴らされる中、海に向かって黙とうし、献花をしました。これから先、何年たとうとも、震災の記憶や悲しみは、決して消

えることはありません。それでも、亡くなられた方々と心の中でつながって生きていくこと、そして、大植に生まれ、大植で亡くなられた方々が喜んでくれるような新しいまちを作っていくことが何よりの鎮魂であり、今生かされている私たちの役目ですね。

共に、歩もう



基礎の撤去作業が3月からいよいよ本格的にはじまります。町内にある約3、200棟ぶんの基礎を4地区に分けて、藤原組、小松組、岩間建設工業、松村建設が作業を行います。

基礎解体、今月から本格化

町では今年の夏頃には終わらせたいとしていますが、基礎撤去の申請がまだな方が3分の1ほどいるそうです。基礎の撤去作業を行っている作業員は「解体できるところとできないところが飛び飛びにあると、作業しづらく二度手間になる」と話していました。申請がまだな方は環境整備課(01931421872)までご連絡ください。

感謝を胸に、旅立ちの春



大植高校で3月1日、卒業式が行われ、3クラス98名が式に臨みました。2年生の東梅佳菜さんは「この先は私たちが在校生がつなぎます。困難に負けない姿を見習い、仲間とともに助け合う絆を培い、大きな道へと発展させていくことを誓います」と送辞を述べました。卒業生の三浦良美さ

んは「これからの人生、どのような困難が待っているかと、これまで私たちが支え、励まし、愛して下さった、多くの方々を思い出すことで、未来に一歩ずつ前進できる予感があります。きょう、この一歩をここに踏み出します」と、先生や家族、地域の方々のみんなに感謝しながら答辞を読み上げました。



大植新聞と大植町を応援します
インターネット
メディアカルクロス
オフィス(IMC)
堂園涼子
RKH
リメンバー-神戸
アンド東日本
大植町の皆様を
心から応援します

地域のみんなに感謝のおゆぎ
4月から寺野地区に移設することが決まっている安渡保育所の年長さん6名によるおゆぎが3月3日、地域住民の前で披露されました。地域のみんなと離ればなれになるのは、ちよっぴりさみしいね。